

平成 8 年 7 月 8 日
北海道電力株式会社

アスファルト固化装置点検中における作業員の負傷

平成 7 年 3 月 24 日 14 時 40 分頃、泊発電所放射性廃棄物処理建屋においてアスファルト固化装置点検作業中、作業員 4 名が火傷を負いました。

なお、今回の事象による環境への放射能の影響はありません。

また、当該作業員の被曝(ばく)はありませんでした。(平成 7 年 3 月 24 日発表済み)

調査の結果、アスファルト固化装置復水タンク内で揮発性の高い可燃性の洗浄液を使用していたこと及び仮設ダクトを引き上げていたことから、この洗浄液が揮発・滞留し、仮設照明の高温のランプにより発火に至り、作業員が負傷したものと推定されます。

このため、タンク内の全面洗浄作業においては可燃性洗浄液を使用しないこととしました。また、空気の滞留する恐れのある箇所では可燃性の溶剤を使用する場合には、防爆型の照明を使用するとともに換気に十分注意することなど、作業管理の徹底を図ることとしました。

以 上